

佳作

## おじいちゃんの木

茨城県 笠間市立岩間第三小学校二年 小糸 そら

わたしの家の前には、くりばたけがあります。おじいちゃんがうえたくりの木が、たくさん大きくなってます。おじいちゃんがたいせつにそだてていきます。

くりの木は、『せんてい』といって、木のえだをきって、えだだらけにならないようにしたり、虫が木をたべないように、木のあなにくすりを入れたり、くりばたけのくさをきれいにしてそだてていて、とてもたいへんそうです。

あきになると、おじいちゃんとおばあちゃんが、くりをひろいにきます。くりの木はみどりで、イガは茶色になっておちます。風がふいたり雨がふると、茶色になる前におちてしまうイガもあります。そのイガの中に、くりのみが入ってます。それをとります。

と言って、いっしょにくりをひろうのが、楽しみです。

「くりひろいに、きたぞー。」  
と言ってくれて、いっしょにくりひろいをしたりします。

家の前がくりばたけなので、おじいちゃんが、くりのおしごとをしているのを見れたり、いっしょにお話をしながら、くりをひろったり、とてもたのしいです。わたしが小さいときは、『くりの木』の歌を歌いながら、おじいちゃんにだっこやおんぶもしてもらいました。大きなくりの木がたくさんあるので、家のまどから見えるけしきもとてもきれいで大すきです。風がつよい日は、木が大きくゆれて、ちよつとこわいときもあるけれども、木がおどっているみたいでおもしろいときもあります。

ふゆにはえだしかないけれど、春にははっぱができてきて、夏はみどりで、あきは茶色にかれて、くりもひろえるし、はっぱがとんで、まわったり、とてもいいけしきです。

これからも、おじいちゃんのおてつだいをして、おいしいくりをたべたいです。いつまでも元気で、くりの木をそだてるおじいちゃんであってほしいです。今年もおじいちゃんとおばあちゃんが、

「くり、ひろいにきたぞー。」